

# たんぽぽ

第 29 号  
平成 23 年 5 月 1 日発行

編集・発行  
常総ボランティア連絡協議会  
水海道天満町 2472 市民福祉センター内  
TEL.0297-23-2233 FAX.0297-23-2234

## 災害支援ボランティア大活躍!!

### ～常総市災害ボランティアセンター～

社協では、震災後「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、ボランティアを必要としている方、ボランティアをしたい方をつないできました。

今回の震災に対しては、みなさんのご協力をいただきありがとうございました。みなさんのご協力によって、多くの方が勇気づけられたことと思います。

今回の災害の復興には時間がかかり、今後またボランティア依頼が出てくる可能性もあります。これからもよろしくお願いいたします。

### 災害ボランティア登録・活動状況【4/20 現在】

ボランティア登録人数(累計)	102名	〈主な活動内容〉
ボランティア活動依頼件数	44件	家具の引き起こし、高齢者等の安否確認、視覚障害者への情報提供、ガレキの片付け、屋内外の片付けなど
ボランティア活動件数	26件	

### さまざまな ボランティア活動



視覚障害者へ、被災状況や生活情報についてお知らせしました。



ひとり暮らし高齢者など約300名の安否確認をしました。



落ちた屋根瓦などのガレキ処分



支援物資の受付・仕分け作業



## その時あなたは…

大震災のまさにその時、皆さんは何をしましたか？  
また、この震災を通じて何を感じたかを緊急アンケートしてみました。

### ■その時あなたは何をしましたか？

- \* 2階の部屋からすぐ下に降り、父母を連れて前の空地に逃げました。家や近所の瓦が落ちるのを見て怖かったです。(50代女性)
- \* 車で家に帰る途中で、急に他の車もゆっくりになり信号が止まって、不安の中緊張して帰ってきました。(30代女性)
- \* 保育室の中央に集まり、揺れが落ち着いてから全園児園庭に集合しました。保護者が迎えに来るまで寒かったのでブルーシートで囲っていました。(40代女性)
- \* 田んぼで作業をしていたが、地震がおさまったら普通に作業に戻った。(20代男性)
- \* 実家が南三陸町なので心配で仕方なかったが、連絡がつかないし、こっちは普通どおりに生活するしかなかった。(40代女性)
- \* 仕事途中でとにかくパソコンを必死でおさえていた。パソコンが壊れたら仕事ができないから。(40代女性)
- \* 家でテレビを見ていました。揺れがどんどん大きくなってきたので液晶大画面テレビを必死で押さえました。後で家具を押さえることが一番してはいけないことだと聞いて青くなりました。(60代女性)
- \* 自分の部屋で本棚が倒れないように押さえしていました。下駄箱の上の水槽が落ちて割れてしまい玄関が水浸しになりました。(60代男性)
- \* 窓際で本を読んでいました。とりあえず窓を開けてすぐに外に出られる準備をしましたが、家の中にいた方がいいのか外に出たほうがいいのか迷いながら大きく揺れる隣の家を見ていました。(40代女性)

- \* ストープの火を消した。そして、主人を探した。(70代女性)
- \* 車椅子利用の障害者なので、車いすごと倒れたら大変だと思って、柱にしがみついていた。(40代男性)
- \* 孫を抱いて、庭に出た。(60代女性)
- \* 2階にいる、お年寄りを見に行った。(60代男性)

### ■今回の震災で何を感じましたか？

- \* 節水・節電で今迄無駄に使っていた事がわかりました。(50代女性)
- \* 大勢の人々がすぐ救援活動する姿、特に原発の作業員の頑張りに感動と感謝です。(30代女性)
- \* 電力館にて小学生が原発の質問で「これがダメになったら?」「じゃあ、ここもダメだったら?」と次々に聞くと、最後に社員が「そんなこと絶対にありません!」と怒ったとの記事。小学生でも「もしも?」と考えているのに東電の危機管理のなさに憤りを感じました。(60代女性)
- \* 安全安全といわれていた原発が、こんなに怖いものだったと初めて気付いた。(40代男性)
- \* 広報車は、よく聞こえるようにゆっくり走ってほしかったです。(60代女性)
- \* 小学生の娘が1回目の地震後下校になり、真っ青な顔で家に着くと「家の人死んでなかった」と泣きました。もう少し様子を見て待たせてほしかったです。(30代女性)
- \* 正しい情報を伝えてほしかったです。(40代女性)

### 謹んで地震災害のお見舞いを申し上げます

この度の大規模地震により被害を受けられました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。  
皆さまの安全と一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

## たんぽぽ全戸配布版 第2号の感想

昨年に続き、たんぽぽの全戸配布ができました！

たくさんの方たちにご協力いただき、3月には常総市の各家庭にお届けすることができました。ご覧になった感想をいただいたので、ここでご紹介します。

- 写真と短いコメントでどんなボランティアがあるのかよくわかりました。
- 手にとって見ようとする気になった。またリサイクルが何になるのか？は子ども達も興味を持ちました。
- 色が少しほんやりしており、見た目パツと印象付けると良い。内容は良いのにもったいない。
- 上手くまとまっていると思う。
- サークルの写真を見ても何をしているサークルなのか分かりづらいので、もう一文あれば良かった。
- 知っている人の写真が載っていて、見ていて楽しかった。
- 写真がたくさん載っていて見やすかったです。サークルの内容をもう少し詳しく知りたくなりました。
- 写真がきれいで見やすかったです。知り合いが写っていたので今度詳しく聞いてみようと思います。
- 書き損じ葉書や使用済み切手などが何に生まれ変わるのか知りませんでした。これからも集めようと思います。
- 市内で活動しているボランティアサークルを知ることができて良かった。
- 写真とコメントで、どんなサークル活動をしているのか分かり易かった。
- リサイクルが、どんな役に立っているのかが分かり良かった。

貴重なご意見ありがとうございました。今後の編集の参考にさせていただきます。m(\_ \_)m

## 傾聴ボランティア養成講座 受講生募集

相手の話を聴き、心で受け止め、その人を理解するための知識や技術を身につけてみませんか。話を聴くことで、心を健康にするボランティア♪始めてみませんか。

《申し込み・問い合わせ》  
5月17日(火)までに  
ボランティア・市民活動センターへ

- ▼日 時：5月26日・6月2日・6月9日の  
毎週木曜日(全3回)13:30～16:00
- ▼場 所：社協 会議室(水海道天満町)
- ▼内 容：傾聴についての講義と体験、ボランティア活動について

- ▼対 象：傾聴ボランティアに関心がある方  
※全3回受講可能な方
- ▼定 員：30名(申込多数の場合は抽選)
- ▼参加費：無料



## 「はこ/BOXESじいちゃんのオルゴール」 ～デフ・パペットシアター・ひとみ上演～

だれでも楽しめる  
人形劇です!!

- 日 時：6月19日(日)開演 14:00(13:30開場)
- 会 場：常総市生涯学習センター多目的ホール
- 主 催：「はこ/BOXES」上映実行委員会、水海道の文化を育てる連絡会
- 料 金：一般1500円、障がい者1000円、子ども(5歳～高校生)800円、親子ペア券2000円※当日300円増
- その他：保育あり(要予約、保険代他300円)
- プレイガイド：常総市生涯学習センター、常総市立図書館、明文堂、元気村
- 問合せ：川上 23-5045 梶山 22-9033
- ★デフ・パペットシアター・ひとみ  
ろう者(耳の聴こえない人)と聴者(聴こえる人)が、一緒につくる世界でたったひとつの人形劇団です。

## 手話を学ぼう！ 第1回 あいさつの手話

今回から、手話サークル「水海道手の会」に協力いただき、ミニ手話講座を連載しようと思います。第1回は、「あいさつ」の手話を学んでみましょう。

「おはよう」は、〈朝〉+〈あいさつ〉で表します。



〈朝〉  
こぶしを側頭部に当てずばやくおろす



〈あいさつ〉  
向かい合わせた人さし指を曲げる

「こんにちは」は、〈昼〉+〈あいさつ〉で、「こんばんは」は、〈夜〉+〈あいさつ〉で表します。



〈昼〉  
人さし指と中指を額に当てる



〈夜〉  
前に向けた手のひらを顔の前で交差させる

お問合せは **ポ連協事務局 (ボランティア・市民活動センター) まで**  
**TEL 23-2233 FAX 23-2234**

編集委員から...

わたげのおしゃべり

柵の木の下に、花びらでなく花ごとポトポト落ちていた光景を見かけます。そういえば鳥がいたずらをして花を落とすという話を聞いたことがあります。でも本当にいたずら??調べてみました!!柵には蜜を吸うために鳥が集まって来るそうです。上手に吸えない鳥は花の付け根を食いちぎって蜜を吸うんだとが...いたずらじゃなかったんだ...、(´▽`)ノ (大津)